



## 平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月31日

会社名 株式会社サンエー化研 (JASDAQ・コード番号：4234)  
 (URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>)  
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 山田次夫 TEL：(03)-3258-3110  
 責任者役職・氏名 専務取締役 家島裕嵩

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (主な内容)  
 減価償却費は年度見込額のうち当四半期分を計上しております。  
 税金費用は当年度の見積実効税率に基づいて計上しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成18年3月期第3四半期業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

#### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	24,494	7.4	1,138	5.3	1,197	2.7	641	6.8
17年3月期第3四半期	22,798	2.3	1,081	-	1,166	-	688	-
(参考)17年3月期	30,329	2.5	1,381	9.7	1,444	9.3	871	9.1

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	56	66	-	-
17年3月期第3四半期	63	90	-	-
(参考)17年3月期	81	55	-	-

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。  
 2. 営業利益等は前第3四半期より開示を行っているため、前第3四半期における対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### 〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期におけるわが国経済は、好調な輸出や設備投資の増加を背景に企業収益が改善し、個人消費も堅調に推移するなど、景気は底堅い回復の動きとなりました。

当社グループにおきましては、原油価格の高騰に起因する原材料の値上げの影響を受けたものの液晶パネル業界の積極的な設備投資による生産量の増加により、機能性材料部門の売上は好調に推移しました。また軽包装部門においても、原油価格の高騰から市況はより厳しい状況となりましたが、高付加価値製品の売上が順調に推移し緩やかながらも回復基調となりました。

この結果、当第3四半期の連結売上高は24,494百万円(前年同期比7.4%増)、経常利益1,197百万円(前年同期比2.7%増)となりました。当第3四半期純利益641百万円(前年同期比6.8%減)は札幌工場閉鎖に伴い特別損失として約1億円を今上期に計上したことにより前年同期比減となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期末	34,146	16,410	48.1	1,450 58
17年3月期第3四半期末	30,158	14,006	46.4	1,365 37
(参考)17年3月期末	32,802	15,600	47.5	1,376 49

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕  
当第3四半期において、財政状態に重要な影響を与えた事象はありません。

【参 考】

平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	33,000	1,600	960

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 82円 38銭

上記予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

〔業績予想に関する定性的情報等〕  
第3四半期の業績は予定通り推移しており、平成17年11月21日に公表しました業績予想に変更はありません。

以 上